

香 川 県 内
バスケットボール部顧問 殿

香川県中学生バスケットボール連盟
理 事 長 藤 原 悟

ベンチで指揮を執る方に最低限知ってほしいこと

総体に向け、どのチームも練習に励んでいることと思います。さて、ジュニア大会等の運営や審判をしていて気がついたこと(気になったこと)が何点かあります。それを県内の中学生にバスケットボールを指導している方に知っておいていただきたいと考えてこのようなプリントを配布させていただきます。下記をお読みいただき、すべての生徒が気持ちよく最後の大会を終えられるように、また大会の運営がスムーズになるようにご協力お願いいたします。

記

☆試合前に

スタートメンバーの確認とサインを試合開始5分前に行ってください。
外部コーチの方が指揮を執る(立ち続ける)場合は外部コーチがサインしてください。

☆各ピリオドの開始

各ピリオドの開始30秒前になったら選手をコートへ入らせるようにしてください。

☆タイムアウトの請求のしかた

タイムアウトはコーチまたはアシスタントコーチがベンチエリアを出てオフィシャル席付近まで近づいて請求してください。はっきりと伝わらない場合はタイムアウトがとれないかもしれません。

請求したタイムアウトが認められる時期は審判の笛が鳴った後とシュートを決められた後です。ただし、請求はスローインをする選手がボールを持つ前までにしてください。

50秒間はベンチエリア(コートの外)に選手を居させてください。

50秒のブザーで話や給水を終わらせて1分で試合が再開できるようにしてください。

☆交代のさせかた

交代は選手自身にユニフォームになってから直接オフィシャルに申し出させてください。申し出後は交代席に着席させてください。コーチがオフィシャルに言っても受け付けられません。

交代が認められるのは申し出た後で、審判の笛が鳴った後です。ただし、ファウルの際は審判がファウルのコールが終わってからになります。また、フリースロー中に交代を申し出た時は最後のシュートが入れば、交代が認められます。

第4ピリオドと延長の残り2分をきった後はシュートを入れられた後も交代できます。

☆オフィシャルが割り当てられたら

必ず、T.C.(テクニカルコミッショナー)としてオフィシャルの後ろについてください。原則として、負けオフィシャルとなっています。審判が当たっている場合はしかたありませんが、事前にしっかりと指導をしておいてください。

ここからは藤原の私見です。

どんなレベルの審判に対しても、納得いかない判定をされても、文句はその場(生徒の前)では言わないでほしい。ゲームキャプテンを通して質問することはさしつかえないし、アピールすることは下品でなければ必要な場合もあると思います。ただし、マナーに関してもコーチは選手(生徒)の見本であることを絶対に忘れてはいけない、と思います。自分のチームの選手(生徒)がコーチの態度を見ています。それを選手(生徒)がまねをします。最終的にはコーチ(自分)に対してでも…。(私自身も反省しながら書いています。)

オフィシャルに対して、文句は言わないでほしい。ただし、教えられていないチーム(学校)がオフィシャルをしていれば文句も言いたくなりますが…。オフィシャルをしている生徒にはベンチから教える様にしてください。教えられていない生徒には責任はありません。文句はその学校のコーチ(先生)に言いましょう。ルールをきちんと教えるのもコーチの役割(責任)です。